

Read This First!

(はじめにお読みください)



VERITAS® Volume Manager 3.1.1 (日本語バージョン)

既知の問題について

VMSA がハングする

重要：Solaris 7 および 8 の日本語ロケール環境で Wnn や cs00 を日本語入力システムとして使用している場合、VMSA がハングすることがあります。日本語版 Solaris のデフォルトの入力システムは Wnn ですが、Sun は、他の入力システムとして、ATOK もサポートしています。日本語入力サーバには、ATOK と htt があります。Wnn および cs00 では、入力サーバとして htt を使用しています。

VERITAS では、現在 Sun と共にこの問題の解決に取り組んでおり、ユーザーが選択した任意の入力方式のサーバを使用できるように検討しています。

問題が解決されるまでは、次の対策を取ることをお勧めします。

1. Wnn を日本語入力システムとして使用している場合は、次の Wnn のパッチをダウンロードして適用した後、日本語版 Solaris 上で VMSA を実行します：

Solaris 7 の場合：107636-04

Solaris 8 の場合：108773-03

パッチ 107636-04 は <http://sunsolve.sun.com> からダウンロードすることができます。

パッチ 108773-03 のダウンロードについては、Sun のテクニカル サポートに連絡してください。

2. 日本語版 Solaris で使用する入力システムを ATOK に変更します。ATOK を有効にするには、CDE のデスクトップ メニューの日本語入力システムから、ATOK を選択します。Wnn 入力システムは終了してください。ログアウトしてからログインし直すと、ATOK がセッションのデフォルト入力システムになります。
3. VMSA のロケールとして英語を使用します。この設定を行うと、VMSA ではすべての文字列が英語で表示されます。このオプションを有効にするには、VMSA を実行する前に LANG=C をエクスポートしてください。

パッケージの内容

VERITAS ソフトウェア CD

- ◆ VRTSvxvm – VERITAS Volume Manager ソフトウェア
- ◆ VRTSvmsa – VERITAS Volume Manager Storage Administrator ソフトウェア
- ◆ VRTSvmdoc – VERITAS Volume Manager および VERITAS Volume Manager Storage Administrator のオンライン マニュアル
- ◆ VRTSvmmman – VERITAS Volume Manager のマニュアル ページ (英語)
- ◆ VRTSvmjam – VERITAS Volume Manager のマニュアル ページ (日本語)
- ◆ VRTSvmdev – VERITAS Volume Manager 開発者用パッケージ (ライブラリ およびヘッダ ファイル)
- ◆ VRTSjavms – VERITAS Volume Manager Storage Administrator ソフトウェア用の言語ファイル
- ◆ VRTSvmjac – VERITAS Volume Manager のメッセージ カタログ ファイル
- ◆ VRTSvmjad – VERITAS Volume Manager および VERITAS Volume Manager Storage Administrator のガイド (日本語)

マニュアル一式

- ◆ 『VERITAS Volume Manager マニュアルの追加情報』 (リリース 3.1.1)
- ◆ 『VERITAS Volume Manager Installation Guide』 (リリース 3.1)
- ◆ 『VERITAS Volume Manager Administrator's Guide』 (リリース 3.1)
- ◆ 『VERITAS Volume Manager Reference Guide』 (リリース 3.1)
- ◆ 『VERITAS Volume Manager Storage Administrator Administrator's Guide』 (リリース 3.1)
- ◆ 『VERITAS Volume Manager Hardware Note』 (リリース 3.1)
- ◆ 『VERITAS Volume Manager Release Notes』 (リリース 3.1.1)
- ◆ 『VERITAS Volume Manager Read This First』 (本書)

上記のいずれかがパッケージに入っていない場合は、販売担当までお問い合わせください。お取り替えいたします。

メモ :

VERITAS Volume Manager (VxVM) 3.1.1 ソフトウェアには、リリース 3.1 のマニュアル、マニュアルの追加情報、および Release Notes が同梱されています。

『VERITAS Volume Manager マニュアルの追加情報』には、VxVM 3.1.1 の新機能に関する説明とインストールの手順が収録されています。

Release Notes では、VxVM 3.1.1 で強化された機能と修正された不具合を説明しています。

注意 VERITAS Volume Manager 3.1.1 の日本語版をインストールする前に、『VERITAS Volume Manager マニュアルの追加情報』をお読みください。この追加情報には、VERITAS Volume Manager をインストールして使用するために必要なソフトウェアパッチの情報が収録されています。

ご使用になる前に

- ✓ 製品の Release Notes をお読みください。
- ✓ 製品のライセンス キーを取得してください。

VERITAS 製品を使用する前に、このパッケージに含まれているライセンス キーの発行申請用紙に必要事項を記入する必要があります。申請用紙を紛失した場合、または製品を評価するために仮のキーを取得する場合は、本製品のご購入先までお問い合わせください。

インストールの前に

- ✓ 『VERITAS Volume Manager マニュアルの追加情報』 (リリース 3.1.1) の「インストールの前に：ソフトウェア パッチに関する重要な情報」に記載されている必要なソフトウェアパッチをインストールしてください。



- ✓ 『VERITAS Volume Manager マニュアルの追加情報』(リリース 3.1.1) の製品情報を参照してください。

ローカライズ版をご利用の皆様へ

以下の事項は VERITAS Volume Manager のローカライズ版にのみ適用されるものです。

- ◆ VERITAS Volume Manager (VxVM) 3.1.1 の国際化版である本ソフトウェアには Sun Microsystems 社より提供される下記パッチ相当がすでに含まれています。また、下記パッチは英語版の VxVM3.1.1 にのみ適用可能なものですのでご注意ください。

Patch ID 110451-02 (Solaris 2.6 用)

Patch ID 110452-02 (Solaris 7 用)

Patch ID 111118-02 (Solaris 8 用)

- ◆ `vmsa -h` および `vmsa_server -h` では、ヘルプメッセージの表示は英語のままとなります (VERITAS 障害番号 66950)。
- ◆ VMSA のオンラインヘルプ検索機能は日本語や中国語などの文字に対応していません。同機能は使用不可になっています。
- ◆ VxVM では、ストレージ装置 (ディスクグループ、ディスク、ボリュームなど) の命名には ASCII 文字のみに対応しています。このようなオブジェクト名に日本語や中国語などの文字を使用しないでください。
- ◆ Wnn 日本語入力方式サーバを使用する場合は、日本語版の Solaris 7 または Solaris 8 上で VMSA を実行するために以下の Wnn パッチが必要です。

107636-04 (Solaris 7 向け)

108773-03 (Solaris 8 向け)

パッチは <http://sunsolve.sun.com> からダウンロード可能です。

- ◆ 本バージョンの VERITAS Volume Manager では、VVR、CFS、CVM の全コンポーネントはローカライズされていません。したがって、これらの機能関連の表示は英語のままとなります。

VxVM 3.1.1 におけるソフトウェアの修正と拡張機能

3.1.1 のリリースでは以下の問題が解決されています。以前のリリースの VxVM で対応済みの障害については、該当する Release Notes を参照してください。

VERITAS 障害番号	説明
23730	分割カーソルが消えないことがあります。このため、待機カーソルが表示されない可能性があります。この問題は Java の不具合に起因しています。 対処: カーソルをメイン ウィンドウの外に移動してから、再度メイン ウィンドウに戻します。 [Sun #4407399]
30427	スレーブ ノード上の <code>vxconfigd</code> がコアダンプします。 [Sun #4416683]
48474	CVM: 階層化ボリュームおよびオンライン再レイアウトのクラスタ化を行い、スレーブ上で <code>vxconfig</code> を再起動すると、 <code>i_nas</code> および <code>i_nsd</code> カウントに不整合が生じ、トランザクションが無効になります。
49324	CVM: 再レイアウトが確実に行われません。スレーブ上で <code>vold</code> が動作していないことが原因となってそのスレーブ上のトランザクションが完了できない場合、一部のトランザクションの終了処理が正常に行われません。
49325	CVM: 階層化ボリュームを使用している場合、 <code>vxstat -b</code> を実行すると <code>assert</code> 機能により実行が異常終了してしまいます。
51560	<code>cvm</code> ボリュームを閉じているときに CFS をアンマウントするとハングしてしまいます。
51893	<code>vxresize</code> がクラスタを認識しません。



VERITAS 障害番号	説明
52330	CVM: クラスタの起動時間を短縮するいくつかのパフォーマンス改善。 追加時におけるディスクグループのインポートと kmsg sender 処理にかかわる部分を一部見直すことによって、起動時間が若干改善しました。
52392	I18N: vol_streerror() の返却するエラーメッセージの言語が正しくありません。
53042	CVM: klog フラッシュが失敗した時の処理が不正であったために、vold がハングします。
53133	DMP の無効化 -- マルチパスを設定したディスク アレイからのパスの無効化 / 有効化機能が、正しく動作しません。
54248	vxinfo コマンドの表示内容に一部問題がありました。
54372	Sol: ディスクグループ 中のディスクへのパスを全て削除すると、vxconfigd がコアダンプします。
54875	VM3.0.4 ではディスク障害により切り離されたプレックスの接続ができません。 [Sun #4390757]
54996	I18N: ローカライズ環境上で vxdisk より表示される help の内容が正しくありません。
55197	オフセットが 4GB を越える I/O を実行中に randio でコアダンプが発生します。
55486	CVM: スレーブを追加した後に別のスレーブを追加すると、追加されていたスレーブが await_join ioctl 処理部分でハングすることがあります。
55664	CVM: クラスタ ノードの起動時に vxrecover -c -v -s が、3 回呼び出されます。
56191	CVM: 循環ブロードキャストのコミット処理中にマスターがクラッシュした場合、スレーブがハングします。
56203	CVM: マスター上の vold が CVM_VOLD_CHANGE 信号を受信する前に、スレーブ上の vold がマスターとの接続をオープンした場合、ノードの追加操作が失敗します。
56302	CVM: VOLOBJ_TFLAG_DROP_KMSG が共有オブジェクトに設定されている場合、vold がトランザクションの中断処理中にハングします。
56307	CVM: すべてのノードが同時に追加を試行する場合、追加処理に長い時間がかかります。
56617	VM 3.1.1L - vxinstall で 3 番目のオプションが、変更なしとして「いいえ」が選択されている場合でさえも、システムをシャットダウンして再起動しようとしています。
56690	CFS: mkfs 実行中にテスト イベント ドライバの f:vx_cvm_ping:2 で assert 例外が発生します。 この問題は、volioctl.h 中で定義されている VOLCVM_PING_ALL_NODES と関係している可能性があります。
57070	VVR: SRL の無いセカンダリ rvg 上で rlink を再起動すると、パニックが起こります。
57104	ストレージのフェイルオーバー コマンドが機能しません。
57105	アクティブ / パッシブ アレイに対して /dev/rdisk や /dev/dsk を使用すると vxinstall が処理に失敗します。
57108	ストレージのフェイルオーバー ルーチン。
57109	アクティブ / パッシブ アレイにおいてパッシブ パスのみが使用可能な場合、その LUN の初期化に失敗します。



VERITAS 障害番号	説明
57249	I18N: 特定の起動スクリプトは常に C ロケールで実行される必要があります。
57571	監視カーソルが Browse Volumes ウィンドウに残ったままとなります。 [Sun #4407399]
57579	CVM: kmsg モジュールは、残されたノードに対してのみ leaver 処理を実行すべきです。
57613	DMP を無効にした後では、ルート ディスク ミラーが起動用に使用できません。
57738	CVM: ノードを切り離す際のマスターの状態が send_slaves の場合、トランザクションが異常終了します。
57741	CVM: スレーブの vold の再接続や動作準備ができていない場合、再レイアウト処理に失敗します。
58131	CVM: TOT の f:dmp_migrate_dmpnode:1c で assert 例外が発生します。vold の停止を試行中に dmp_migrate_dmpnode_to_devlist で assert 例外が発生するために、TC がハングします。
58305	プライマリ srl の検索をプライマリ ディスクグループに対してのみ実行します。
58708	停止されたボリューム上の fs タスクを無効にします。
59202	CVM: マスターによる KCM のテイクオーバー後の回復処理が開始しません。
59238	大型システム上での VxVM DMP を構成するとカーネルのヒープ領域が破壊されます。 [Sun #4411348]
59343	HPUX および Solaris 2.6 の日付 / 時刻における %G を修正しました。
59403	DMP: DMP-AP と同時に存在できる構成であることを試験するための機能。本機能は既存のメニュー形式による DMP 構成試験に追加済みです。
59673	ベンダー ID や製品 ID に基づいてデバイスを対象から外したり追加する処理が、特定の場合に失敗します。
59820	MountDetailsDialog の有効化 / 無効化処理の正常化。
59874	カーソルの形状がデフォルトに戻らないという問題を修正しました。 [Sun #4407399]
59986	HOST 変数が VMSA に渡されるようにしました。
60075	再起動中に、ディスクアレイ名に基づいたエンクロージャの初期化が失敗します。
60184	VM: leadville を使った構成の際、ライセンスによって提供される機能を完全に有効にすることができません。 [Sun #4413604]
60282	vxconfigd が無限ループに入ることがあります。原因は vold_set_new_role に alarm が呼び出され、そのためにタイムアウトしないためです。
60323	CVM: 追加処理のタイムアウト値はチューニング可能な値であるべきです。
60600	ホットリロケーションの TC を中断すると、そのかわりに異常終了してしまいます。
60609	SOL: DMP が無効になっているとき ddi_path_list が正しく処理されません。
60682	CVM: vxclustadm nodestate からの冗長出力が必要です。



VERITAS 障害番号	説明
60925	不正なポインタの参照解除が原因となって、kmsg キューを移動中に cvm がパニックを起こします。
60927	CFS : cvm が再起動時にディスクグループを解放してしまいます。
60994	ローカライズ パッケージをインストールしていないのに、ローカライズされた文字列が表示されるという VMSA の問題を修正しました。
61130	ディスクグループのアクティブ化の状態について VMSA が混乱するという問題を修正しました。
61145	I18N: vxinstall のテキスト画面のうち多くが、国際化されずに英語のままとなっています。
61286	TOT で voldg/upgrade/features.tc が失敗します。
61545	CVM: FMR が volfmr_alloc でパニックを起こすために、ローリングの更新機能が妨げられます。
61588	CVM: VCS および NOCM 環境での追加タイムアウト値の設定。
61780	3.1 と 3.1.1 間でのローリング更新機能のプロトコル非互換性問題を修正する必要があります。
61829	ルートディスクのカプセル化プログラムによって、パーティションテーブルが破壊されます。
62533	Windows 上で発生する印刷時の障害を修正しました。
62610	upgrade_start と upgrade_finish について、Sun の Patch ID を含むように変更しました。
62687	nec_claim_device 内での datatype の比較処理に問題があります。

テクニカル サポート

ライセンス情報や VERITAS サービス パッケージに関する情報については、本製品のご購入先までお問い合わせください。

販売および トレーニング

VERITAS の販売代理店、トレーニング コース、コンサルティング サービス、製品展示会、セミナーについては、Web サイト（日本語：<http://www.veritas.com./jp>、英語：<http://www.veritas.com>）をご覧ください。

登録商標

Copyright © 2001 VERITAS® Software Corporation. All rights reserved.

VERITAS は、米国およびその他の国における VERITAS Software Corporation の登録商標です。

VERITAS Volume Manager、VERITAS Volume Manager Storage Administrator、VERITAS File System、および VERITAS ロゴは、VERITAS Software Corporation の商標です。

本書に記載されているその他の製品は、各社の商標または登録商標です。

VERITAS Software Corporation
1600 Plymouth Street
Mountain View, CA 94043
(650) 527-8000

